

邑楽町 様

自治体間比較・経年比較等分析
第5章 脳卒中及び循環器系疾患分析

令和5年2月
株式会社データホライゾン

-目次-		Excelシート名
第5章 脳卒中及び循環器系疾患分析		
1. 概要		第5章1(1)(2)
(1)調査の目的		第5章1(1)(2)
(2)分析対象データ		第5章1(1)(2)
(3)総括		第5章1(3)
(4)分析に使用する定義		第5章1(4)-(7)
(5)分析に使用する技術		第5章1(4)-(7)
(6)用語の解説		第5章1(4)-(7)
(7)注意事項		第5章1(4)-(7)
2. 脳卒中及び循環器系疾患に係る医療費統計		第5章2(1)
(1)他疾患併存状況別 脳卒中及び心筋梗塞医療費		第5章2(1)
(2)他疾患併存状況別 脳卒中及び心筋梗塞患者数		第5章2(2)
(3)他疾患併存状況別 患者一人当たりの脳卒中及び心筋梗塞医療費		第5章2(3)

※「Excelシート名」…別添のExcel帳票のシート名称

1.概要

(1)調査の目的

厚生労働省「令和3年人口動態統計」によると、死因順位第2位は心疾患、第4位は脳血管疾患である。脳卒中は、発症すると後遺症が残ったり寝たきりになる可能性が高く、厚生労働省「2019年国民生活基礎調査」において、要介護者となった主な原因の第2位となっている。

脳卒中、心臓病その他の循環器病が、国民の生命及び健康にとって重大な問題となっている現状から、「健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法」が平成30年12月に成立、令和元年12月に施行された。同法は循環器病の予防に取り組むこと等により国民の健康寿命の延伸等を図り、あわせて医療及び介護に係る負担の軽減に資することを目的としている。

脳卒中等の循環器疾患の発症には生活習慣が深く関与していることが明らかとなっており、従来からのハイリスク者対策に加えて、食生活・運動習慣等の改善についての啓発活動を通して、危険因子を持つ多くの人々に対する発症予防対策の視点が重要である。

本分析においては、発症予防対策実施に向けての予備調査として、生活習慣病又は家族性高コレステロール血症を併存する脳卒中及び心筋梗塞患者について、医療費及び患者数等の治療状況を分析し、自治体間比較を行う。

(2)分析対象データ

本調査で対象となるデータは以下のとおりとする。

比較対象自治体数(全国) : 111

・レセプトデータ

・貴自治体

データ化範囲:平成31年4月～令和4年3月診療分(36カ月分)

年度範囲:4月～翌年3月

・他自治体(全国)

データ化範囲:平成31年4月～令和4年3月診療分(36カ月分)

年度範囲:4月～翌年3月

(3)総括

第5章の総括として、脳卒中及び心筋梗塞のうち患者数が多い傾向のある「脳梗塞」について、「糖尿病併存」に着目し、他自治体(全国)との比較結果を示す。

第5章 脳卒中及び循環器系疾患分析 結果まとめ (最新年度:令和3年度)

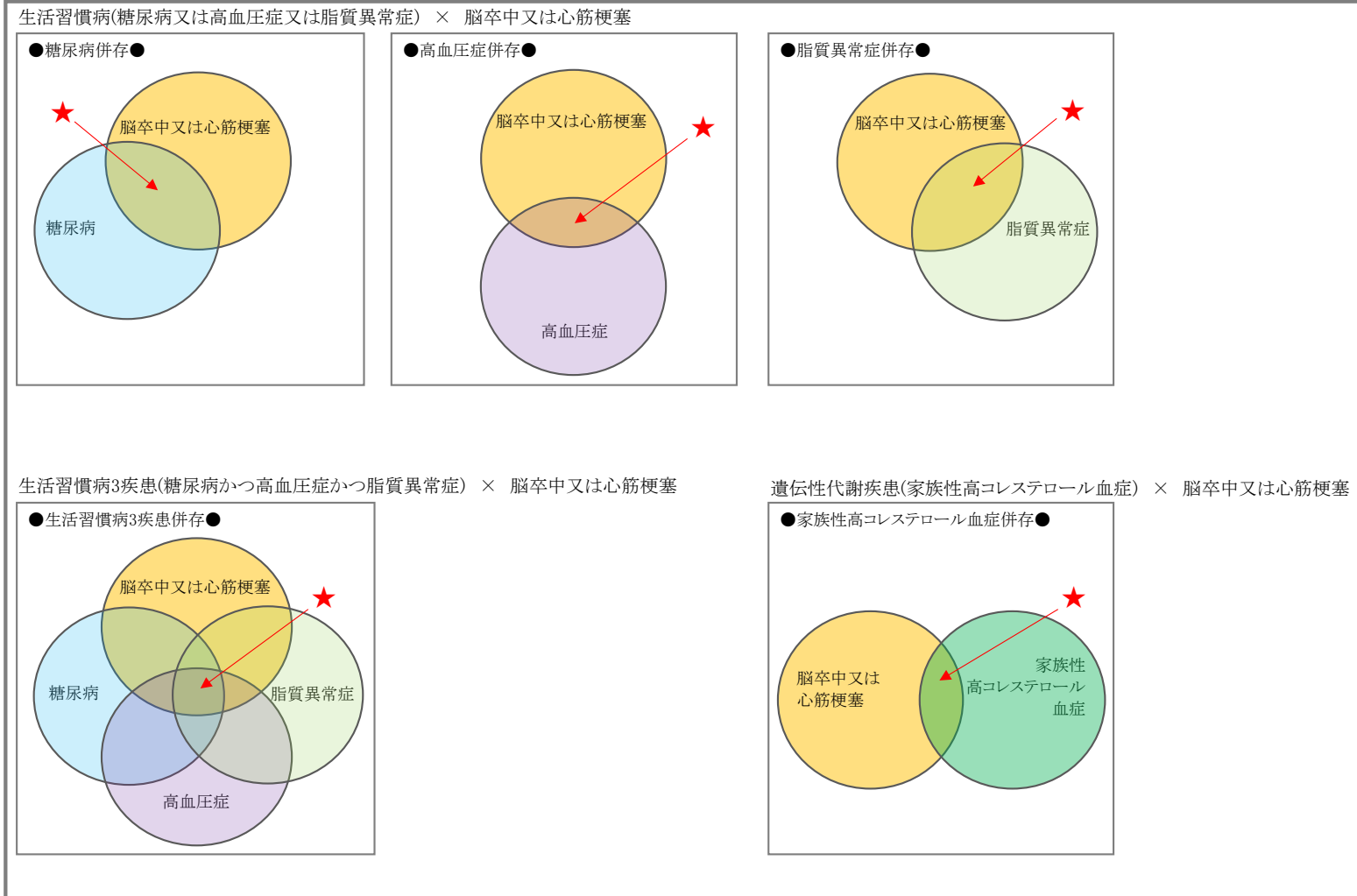
相対値により色付け かなり低い 0以上 0.7未満 やや低い 0.7以上 0.9未満 標準 0.9以上 1.1未満 やや高い 1.1以上 1.3未満 かなり高い 1.3以上

		貴自治体			貴自治体の相対値(他自治体=1とする)			
		比較指標						
	傷病名	併存疾患	医療費(千円)	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(千円)	医療費	患者数	患者一人当たりの医療費
脳卒中及び心筋梗塞医療費	脳梗塞	糖尿病併存	18,360	199	92	0.79	0.82	0.96

(4)分析に使用する定義

本調査で使用する定義は以下のとおりとする。

- 資格条件
各項目内に記載する。
- 年齢範囲
各項目内に記載する。
- 分析対象者



(5)分析に使用する技術

本調査で使用する分析技術は以下のとおりとする。

・医療費分解技術(特許第4312757号)

レセプトに記載された全ての傷病名と診療行為(医薬品、検査、手術、処置、指導料等)を正しく結び付け、傷病名毎の医療費を算出する。

レセプトは傷病名毎に点数が振り分けられておらず、通常の統計資料は主傷病名で点数集計されており、また、治療中の傷病と治療済の傷病が併記されている。そのまま分析に使用すると「主傷病以外の傷病の医療費がゼロとなり、傷病名毎の医療費が正確には把握できない」「現在治療中の疾病が把握できない」等の問題がある。ここでは、株式会社データホライゾンにおいて開発した、傷病名毎に診療行為を点数分解し、グループ化する技術を用いて医療費の集計を行う。

・レセプト分析システムおよび分析方法(特許第5992234号)

中長期にわたるレセプトから特定の患者についてアクティブな傷病名とノンアクティブな傷病名を識別する。

レセプトに記載されている傷病名は、追記式のため、過去から現在までの傷病名が記載されており、そのうち、約4割が現在治療中でない傷病名といわれている。重症化予防や受診勧奨等、個別の保健事業の実施に当たっては、現在治療中の傷病名のみを取り出し、該当者を抽出する必要がある。前述の「医療費分解技術」では、当月の傷病名別にどのような医薬品や診療行為が使用されたのかは把握できた。しかし、傷病の種類によっては、中長期にわたる投薬や診療がなされるため、必ずしもその傷病名がアクティブかノンアクティブかを識別することが困難だったが、当特許技術で解決した。

(6)用語の解説

・他自治体

データ利活用の許諾を頂いた自治体の総計より算出した、貴自治体と被保険者規模が同数であると仮定した場合の平均値を使用する。

$$\text{算出結果} = \frac{\text{他自治体の該当値の総計}}{\text{他自治体の被保険者数の総計} \div \text{貴自治体の被保険者数}}$$

(7)注意事項

貴自治体と他自治体の年度範囲が異なる場合、変動要素(特定の疾病の流行、自然災害、高額薬剤の販売など)による年度独自の特徴にずれが生じるため、比較結果に影響する可能性がある。

2.脳卒中及び循環器系疾患に係る医療費統計

(1)他疾患併存状況別 脳卒中及び心筋梗塞医療費

脳卒中又は心筋梗塞と、生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)又は遺伝性代謝疾患(家族性高コレステロール血症)を併せ持つ患者について、脳卒中及び心筋梗塞に係る医療費を比較分析した。他自治体と比較することにより貴自治体の状況を相対的に把握する。

				糖尿病併存 (生活習慣病)					
				平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
脳卒中及び心筋梗塞 医療費(千円)	貴自治体	A	脳梗塞	0	0	0	29,471	15,414	18,360
		B	脳内出血	0	0	0	7,378	4,881	3,902
		C	くも膜下出血	0	0	0	797	447	15,057
		D	心筋梗塞	0	0	0	22,277	16,052	10,933
		D1	急性心筋梗塞	0	0	0	15,678	12,153	7,291
	他自治体 (全国)	A	脳梗塞	0	0	0	24,707	23,473	23,365
		B	脳内出血	0	0	0	8,687	8,704	8,942
		C	くも膜下出血	0	0	0	2,611	2,451	2,450
		D	心筋梗塞	0	0	0	12,264	11,443	11,012
		D1	急性心筋梗塞	0	0	0	8,295	8,070	7,819

				高血圧症併存 (生活習慣病)					
				平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
脳卒中及び心筋梗塞 医療費(千円)	貴自治体	A	脳梗塞	0	0	0	30,070	19,859	16,357
		B	脳内出血	0	0	0	7,594	7,642	23,571
		C	くも膜下出血	0	0	0	794	3,478	15,079
		D	心筋梗塞	0	0	0	24,650	18,933	10,716
		D1	急性心筋梗塞	0	0	0	17,543	15,086	7,104
	他自治体 (全国)	A	脳梗塞	0	0	0	28,480	27,264	27,514
		B	脳内出血	0	0	0	13,969	13,998	14,113
		C	くも膜下出血	0	0	0	4,264	4,374	4,109
		D	心筋梗塞	0	0	0	13,589	12,416	11,802
		D1	急性心筋梗塞	0	0	0	9,432	8,863	8,495

			脂質異常症併存 (生活習慣病)						
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
脳卒中及び心筋梗塞 医療費(千円)	貴自治体	A	脳梗塞	0	0	0	17,033	10,383	14,302
		B	脳内出血	0	0	0	240	4,537	237
		C	くも膜下出血	0	0	0	126	73	8,209
		D	心筋梗塞	0	0	0	24,762	19,003	10,919
		D1	急性心筋梗塞	0	0	0	17,298	14,889	7,072
	他自治体 (全国)	A	脳梗塞	0	0	0	20,438	19,925	20,225
		B	脳内出血	0	0	0	5,761	5,263	5,730
		C	くも膜下出血	0	0	0	2,013	2,302	2,256
		D	心筋梗塞	0	0	0	13,492	12,294	11,779
		D1	急性心筋梗塞	0	0	0	9,275	8,769	8,407

			生活習慣病3疾患併存						
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
脳卒中及び心筋梗塞 医療費(千円)	貴自治体	A	脳梗塞	0	0	0	7,626	5,226	8,052
		B	脳内出血	0	0	0	126	4,449	148
		C	くも膜下出血	0	0	0	83	68	8,188
		D	心筋梗塞	0	0	0	20,695	14,946	9,779
		D1	急性心筋梗塞	0	0	0	14,519	11,328	6,788
	他自治体 (全国)	A	脳梗塞	0	0	0	12,994	13,306	13,259
		B	脳内出血	0	0	0	3,907	3,433	3,964
		C	くも膜下出血	0	0	0	1,225	1,119	1,225
		D	心筋梗塞	0	0	0	10,542	9,699	9,503
		D1	急性心筋梗塞	0	0	0	7,047	6,693	6,687

			家族性高コレステロール血症併存					
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
脳卒中及び心筋梗塞 医療費(千円)	貴自治体	A 脳梗塞	0	0	0	17	64	15
		B 脳内出血	0	0	0	0	0	0
		C くも膜下出血	0	0	0	0	0	0
		D 心筋梗塞	0	0	0	36	13	16
		D1 急性心筋梗塞	0	0	0	23	0	0
	他自治体 (全国)	A 脳梗塞	0	0	0	97	133	120
		B 脳内出血	0	0	0	29	30	45
		C くも膜下出血	0	0	0	1	35	16
		D 心筋梗塞	0	0	0	343	294	295
		D1 急性心筋梗塞	0	0	0	219	206	215

【貴自治体】

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成31年4月～令和4年3月診療分(36カ月分)。

年度範囲…4月～翌年3月。

年齢範囲…全被保険者を分析対象としている。

医療費…各年度、1日でも資格があれば分析対象としている。

【他自治体(全国)】

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤のレセプト。対象診療年月は平成31年4月～令和4年3月診療分(36カ月分)。

年度範囲…4月～翌年3月。

年齢範囲…全被保険者を分析対象としている。

医療費…各年度、1日でも資格があれば分析対象としている。

(2)他疾患併存状況別 脳卒中及び心筋梗塞患者数

脳卒中又は心筋梗塞と、生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)又は遺伝性代謝疾患(家族性高コレステロール血症)を併せ持つ患者について、併存状況別の患者数を比較分析した。他自治体と比較することにより貴自治体の状況を相対的に把握する。

				糖尿病併存 (生活習慣病)					
				平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
脳卒中及び心筋梗塞 患者数(人)	貴自治体	A	脳梗塞	0	0	0	199	208	199
		B	脳内出血	0	0	0	49	43	44
		C	くも膜下出血	0	0	0	12	8	6
		D	心筋梗塞	0	0	0	216	223	197
		D1	急性心筋梗塞	0	0	0	191	199	167
	他自治体 (全国)	A	脳梗塞	0	0	0	259	243	244
		B	脳内出血	0	0	0	51	47	49
		C	くも膜下出血	0	0	0	11	10	10
		D	心筋梗塞	0	0	0	141	135	140
		D1	急性心筋梗塞	0	0	0	108	103	108

				高血圧症併存 (生活習慣病)					
				平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
脳卒中及び心筋梗塞 患者数(人)	貴自治体	A	脳梗塞	0	0	0	233	238	219
		B	脳内出血	0	0	0	52	49	56
		C	くも膜下出血	0	0	0	12	9	5
		D	心筋梗塞	0	0	0	195	179	171
		D1	急性心筋梗塞	0	0	0	168	154	139
	他自治体 (全国)	A	脳梗塞	0	0	0	295	276	276
		B	脳内出血	0	0	0	60	56	57
		C	くも膜下出血	0	0	0	14	13	13
		D	心筋梗塞	0	0	0	137	131	134
		D1	急性心筋梗塞	0	0	0	100	94	97

			脂質異常症併存 (生活習慣病)						
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
脳卒中及び心筋梗塞 患者数(人)	貴自治体	A	脳梗塞	0	0	0	172	173	160
		B	脳内出血	0	0	0	34	32	33
		C	くも膜下出血	0	0	0	11	7	5
		D	心筋梗塞	0	0	0	171	157	151
		D1	急性心筋梗塞	0	0	0	140	126	116
	他自治体 (全国)	A	脳梗塞	0	0	0	230	215	217
		B	脳内出血	0	0	0	36	34	35
		C	くも膜下出血	0	0	0	10	9	9
		D	心筋梗塞	0	0	0	119	115	118
		D1	急性心筋梗塞	0	0	0	83	79	82

			生活習慣病3疾患併存						
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
脳卒中及び心筋梗塞 患者数(人)	貴自治体	A	脳梗塞	0	0	0	88	94	89
		B	脳内出血	0	0	0	19	18	19
		C	くも膜下出血	0	0	0	6	6	3
		D	心筋梗塞	0	0	0	123	110	114
		D1	急性心筋梗塞	0	0	0	102	90	88
	他自治体 (全国)	A	脳梗塞	0	0	0	129	123	125
		B	脳内出血	0	0	0	21	20	20
		C	くも膜下出血	0	0	0	5	4	4
		D	心筋梗塞	0	0	0	82	80	82
		D1	急性心筋梗塞	0	0	0	56	54	56

			家族性高コレステロール血症併存					
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
脳卒中及び心筋梗塞 患者数(人)	貴自治体	A 脳梗塞	0	0	0	2	2	2
		B 脳内出血	0	0	0	0	0	0
		C くも膜下出血	0	0	0	0	0	0
		D 心筋梗塞	0	0	0	4	1	1
		D1 急性心筋梗塞	0	0	0	3	0	0
	他自治体 (全国)	A 脳梗塞	0	0	0	2	2	2
		B 脳内出血	0	0	0	0	0	0
		C くも膜下出血	0	0	0	0	0	0
		D 心筋梗塞	0	0	0	2	2	2
		D1 急性心筋梗塞	0	0	0	1	1	1

【貴自治体】

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成31年4月～令和4年3月診療分(36カ月分)。

年度範囲…4月～翌年3月。

年齢範囲…全被保険者を分析対象としている。

患者数…各年度、1日でも資格があれば分析対象としている。

【他自治体(全国)】

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤のレセプト。対象診療年月は平成31年4月～令和4年3月診療分(36カ月分)。

年度範囲…4月～翌年3月。

年齢範囲…全被保険者を分析対象としている。

患者数…各年度、1日でも資格があれば分析対象としている。

(3)他疾患併存状況別 患者一人当たりの脳卒中及び心筋梗塞医療費

脳卒中又は心筋梗塞と、生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)又は遺伝性代謝疾患(家族性高コレステロール血症)を併せ持つ患者について、脳卒中及び心筋梗塞に係る患者一人当たり医療費を比較分析した。他自治体と比較することにより貴自治体の状況を相対的に把握する。

				糖尿病併存 (生活習慣病)					
				平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
患者一人当たりの 脳卒中及び心筋梗塞 医療費(千円)	貴自治体	A	脳梗塞	0	0	0	148	74	92
		B	脳内出血	0	0	0	151	114	89
		C	くも膜下出血	0	0	0	66	56	2,510
		D	心筋梗塞	0	0	0	103	72	55
		D1	急性心筋梗塞	0	0	0	82	61	44
	他自治体 (全国)	A	脳梗塞	0	0	0	95	97	96
		B	脳内出血	0	0	0	171	184	183
		C	くも膜下出血	0	0	0	240	244	245
		D	心筋梗塞	0	0	0	87	85	78
		D1	急性心筋梗塞	0	0	0	77	78	72

				高血圧症併存 (生活習慣病)					
				平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
患者一人当たりの 脳卒中及び心筋梗塞 医療費(千円)	貴自治体	A	脳梗塞	0	0	0	129	83	75
		B	脳内出血	0	0	0	146	156	421
		C	くも膜下出血	0	0	0	66	386	3,016
		D	心筋梗塞	0	0	0	126	106	63
		D1	急性心筋梗塞	0	0	0	104	98	51
	他自治体 (全国)	A	脳梗塞	0	0	0	96	99	100
		B	脳内出血	0	0	0	231	249	246
		C	くも膜下出血	0	0	0	296	326	312
		D	心筋梗塞	0	0	0	99	95	88
		D1	急性心筋梗塞	0	0	0	94	94	87

			脂質異常症併存 (生活習慣病)						
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
患者一人当たりの 脳卒中及び心筋梗塞 医療費(千円)	貴自治体	A	脳梗塞	0	0	0	99	60	89
		B	脳内出血	0	0	0	7	142	7
		C	くも膜下出血	0	0	0	11	10	1,642
		D	心筋梗塞	0	0	0	145	121	72
		D1	急性心筋梗塞	0	0	0	124	118	61
	他自治体 (全国)	A	脳梗塞	0	0	0	89	93	93
		B	脳内出血	0	0	0	158	156	166
		C	くも膜下出血	0	0	0	208	265	259
		D	心筋梗塞	0	0	0	113	107	100
		D1	急性心筋梗塞	0	0	0	112	111	103

			生活習慣病3疾患併存						
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
患者一人当たりの 脳卒中及び心筋梗塞 医療費(千円)	貴自治体	A	脳梗塞	0	0	0	87	56	90
		B	脳内出血	0	0	0	7	247	8
		C	くも膜下出血	0	0	0	14	11	2,729
		D	心筋梗塞	0	0	0	168	136	86
		D1	急性心筋梗塞	0	0	0	142	126	77
	他自治体 (全国)	A	脳梗塞	0	0	0	100	108	106
		B	脳内出血	0	0	0	187	175	199
		C	くも膜下出血	0	0	0	262	253	289
		D	心筋梗塞	0	0	0	129	121	115
		D1	急性心筋梗塞	0	0	0	127	125	120

			家族性高コレステロール血症併存					
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
患者一人当たりの 脳卒中及び心筋梗塞 医療費(千円)	貴自治体	A 脳梗塞	0	0	0	8	32	8
		B 脳内出血	0	0	0	0	0	0
		C くも膜下出血	0	0	0	0	0	0
		D 心筋梗塞	0	0	0	9	13	16
		D1 急性心筋梗塞	0	0	0	8	0	0
	他自治体 (全国)	A 脳梗塞	0	0	0	63	85	75
		B 脳内出血	0	0	0	140	145	174
		C くも膜下出血	0	0	0	10	453	314
		D 心筋梗塞	0	0	0	180	155	142
		D1 急性心筋梗塞	0	0	0	194	198	179

【貴自治体】

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成31年4月～令和4年3月診療分(36カ月分)。

年度範囲…4月～翌年3月。

年齢範囲…全被保険者を分析対象としている。

医療費…各年度、1日でも資格があれば分析対象としている。

患者数…各年度、1日でも資格があれば分析対象としている。

【他自治体(全国)】

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤のレセプト。対象診療年月は平成31年4月～令和4年3月診療分(36カ月分)。

年度範囲…4月～翌年3月。

年齢範囲…全被保険者を分析対象としている。

医療費…各年度、1日でも資格があれば分析対象としている。

患者数…各年度、1日でも資格があれば分析対象としている。